



28

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 9 月 13 日 (第 報)

発信時刻 時 分

(第 15 条-27 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第3号炉

特定事象の発生時刻 平成23年9月11日16時36分 (24時間表示)

発生した特定事象の種類 ⑥非常用炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (四角する, □しない)

想定される原因 □特定 □調査中

検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 3号炉は、炉心内に注水しては HPCI を停止し、現時点で、炉内注水設備は停止している。このため、5時30分頃には TAF の到達は予想です。現在、炉内注水設備に向けた設備を動かしては、炉内注水設備の稼働に向けた準備は行っています。

被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 確認中 □無 □有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有

気象情報 (確認時刻 時 分) 天候 方位 風向 方位 風速 m/s 大気安定度

周辺環境への影響 □無 □有

応急措置

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
発信時刻 時 分
(第 15 条-28 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿
通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)
(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

電力事業所の名称及び
名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
(事業区分：電気事業)
場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要
特定事象の種類 ⑥非常取次冷却装置注水不能
原子力緊急事態に該当 (する, しない)
想定される原因 特定 調査中

検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等
予後HPCIが停止したため、RCICによる原子炉への注水を実施しましたが、RCICが起動できなかったことから、5時10分に原子炉冷却機能喪失に該当すると判断した。

被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)
被ばく者の状況 確認中
 無 有：被ばく者 名 要救助者 名
汚染拡大の有無 無 有：

その他特定事象の把握に参考となる情報
気象情報 (確認時刻 時 分)
・天候 : 晴
・風向 : 方位北北東
・風速 : 2.7 m/s
・大気安定度 :

周辺環境への影響
 無 4:30 正内 3.104 μSv/h
 有 : 4:30 HP-8 510 μSv/h

応急措置

30

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 15 報)

発信時刻 6 時 14 分 19 秒

(第 15 条 - 29 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 1 号炉
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 30 分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要	特定事象の種類	① 燃料冷却不能 原子力緊急事態に該当 (○する, □しない)
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	その後 4 時 50 分に TAF に到着したため 判断しました

その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候: 晴 風向: 方位 風速: 10 m/s 大気安定度: 不安定
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置	

1F-3 D/W 2次ベントの場合
の線量評価

前提

ケース：重大事故

容積：D/W + S/C = 3770 + 3160 m³

圧力： $\frac{4.27}{9.72} + 101.3 \approx 101.3$ kPa
3.7気圧
9.72気圧

気速：S/W 4.9 m/s

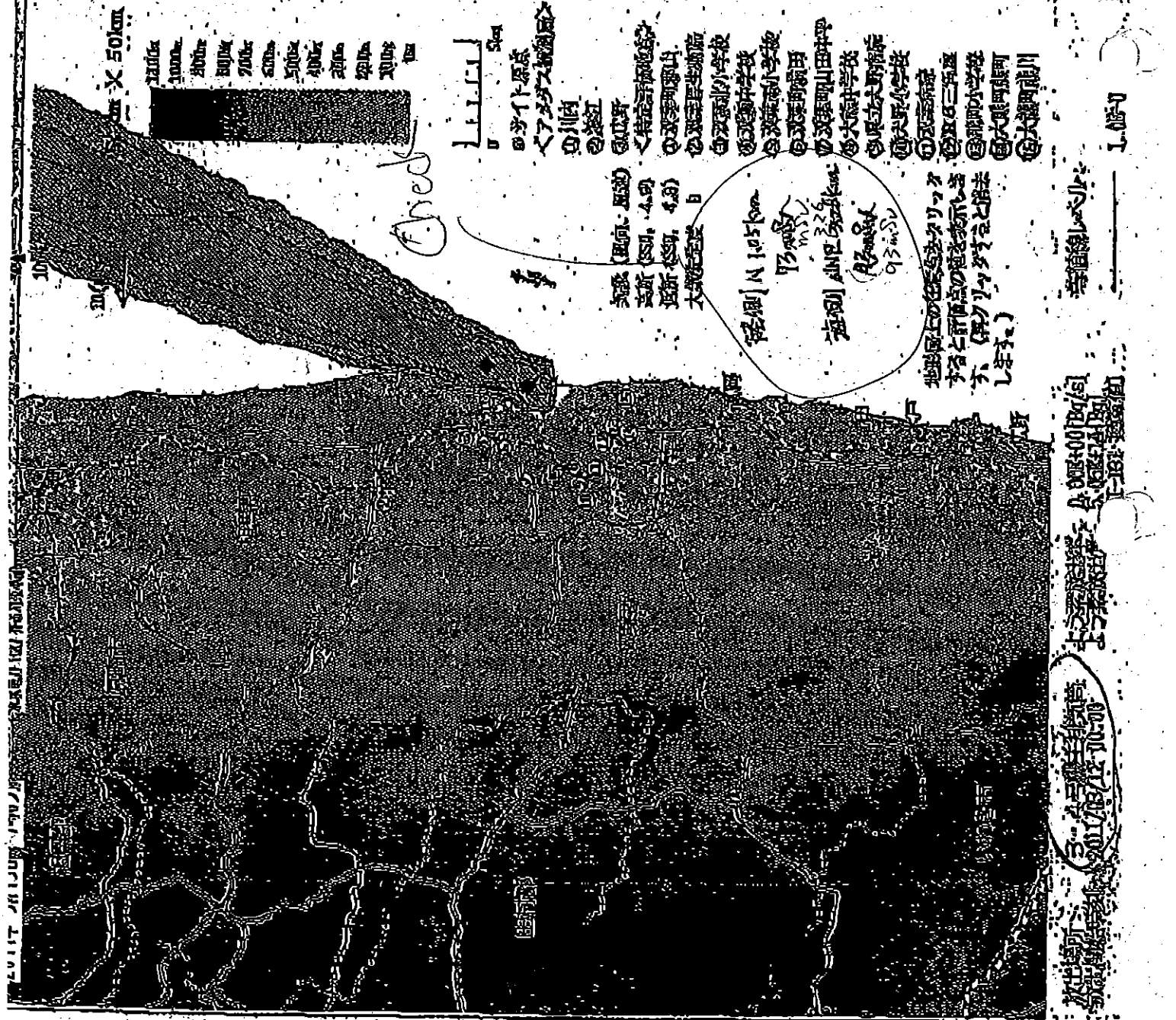
○大気安定度 D

(6:30現在 2Fの気象条件)

133	2011/08/12	22-10
134	2011/08/12	22-20
135	2011/08/12	22-30
136	2011/08/12	22-40
137	2011/08/12	22-50
138	2011/08/12	23-00
139	2011/08/12	23-10
140	2011/08/12	23-20
141	2011/08/12	23-30
142	2011/08/12	23-40
143	2011/08/12	23-50

144

145



50km

- 146
- 147
- 148
- 149
- 150
- 151
- 152
- 153
- 154
- 155
- 156
- 157
- 158
- 159
- 160
- 161
- 162
- 163
- 164
- 165
- 166
- 167
- 168
- 169
- 170
- 171
- 172
- 173
- 174
- 175
- 176
- 177
- 178
- 179
- 180
- 181
- 182
- 183
- 184
- 185
- 186
- 187
- 188
- 189
- 190
- 191
- 192
- 193
- 194
- 195
- 196
- 197
- 198
- 199
- 200

Creek

山

経度 (北緯・東経)
緯度 (東経・北緯)
距離 (SSM, 4.8)
大塚 (SSM, 4.8)

経度 114.145 km
緯度 35.49 km
距離 114.145 km
(R2000)
93 km

地形図上の任意のポイントを
その上の任意の地点を示し、
その間の距離を測定する
ことができます (詳しくは
説明書をご覧ください)

寺田川

2011/08/12 10:00

500 ~ 50

(F3224) x 2

FAX 7-53

32

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 7 時 56 分
(第 15 条 5 号 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分：電気事業) 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	⑥ 非常用炉心冷却装置が水不足 原子力緊急事態に該当 (四する, □しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
その他特定事象の把握に参考となる情報	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	3時14分7時39分、格納容器スプレッド 745ml 原子炉水位 -3000mm (2000mm) 原子炉圧力 7.31MPa D/C圧力 460kPa abs S/D圧力 440 "
	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 確認中 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候 : _____ 風向 : 方位 _____ 風速 : _____ m/s 大気安定度 : _____
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置	

111 3/13 8:46

33

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 8 時 46 分

(第 15 条-32 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

発生した特定事象の種類 ⑥非常用炉心冷却設備注水不能 原子力緊急事態に該当 (口する, 口しない)

想定される原因 口特定 口調査中

発生した特定事象の概要 検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 3時40分頃よりSNバート操作を開始しました。

その他特定事象の把握に参考となる情報 被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 口無 口有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 口無 口有:

気象情報 (確認時刻 時 分) 気候 風向 風速 天気安定度

周辺環境への影響 口無 口有: MP-4 27.0 uSv/h

応急措置 正内 2.5 uSv/h 7時30分現在 MP-8 3.6 uSv/h

一斉FAX 9:01

34

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 9 時 01 分

(第 15 条-23 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

発生した特定事象の種類 ⑤ 非冷却炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (四する, □しない)

想定される原因 □特定 □調査中

検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 500 mSv/h 2.32 mSv/h 8時56分 放射性物質の状況 異常上昇 該当FAX 別紙にて HP: 4: 882 mSv/h (8:23)

被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 確認中 □無 □有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有

気象情報 (確認時刻 時 分) 天候: 晴れ 風向: 方位南南西 風速: 0.2 m/s 大気安定度:

周辺環境への影響 □無 8:10 正門 3.2 mSv/h □有 7:20 HP-8400 5.6 mSv/h

応急措置

済 FAX 9:20 35
様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
発信時刻 時 分
(第 1.5 条 34 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第3号炉	
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日16時36分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	①非常炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	7:08頃に 3号炉はRPAによる原子炉圧力の急速減圧。RPA 原子炉圧力: 1.26MPa、V/A圧力: 637kPa、S/C圧力: 590kPa 5号炉 消火ホライによる原子炉内への注水を開始した。
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 確認中 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候: 方位: 風向: 風速: m/s 大気安定度:
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置	

FAX 9:36 36
機式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。
平成 23 年 9 月 13 日 (第 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

発信時刻 9 時 36 分
(第 15 条 35 報)

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分：電気事業) 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢守北原2-2 福島第一原子力発電所 第5号炉	
事象の発生箇所	平成23年9月11日16時36分 (24時間表示)	
特定事象の発生時刻	⑥非常用炉心冷却装置注水不能	
特定事象の種類	原子力緊急事態に該当 (四する, □しない)	
想定される原因	□特定 □調査中	
発生した事象	<p>検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等</p> <p>3時40分、D/W A21 操作は、9時20分頃より、D/W 圧力が低下傾向にあることを確認した。 また、炉心温度は、炉内への注水は、注水不能の状態にある。</p>	
特定事象の把握に係る情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 □無 □有：被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	・天候 ・風向 方位 確認中 ・風速 m/s ・大気安定度
	周辺環境への影響	□無 □有： 確認中
	応急措置	第15条35報の連絡は、既に行っており、注水不能の状態は、注水不能の状態にある。

送信ページ数 01 ページ

FAX 1218 37

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
発信時刻 12 時 18 分
(第 15 条 36 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分：電気事業) 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第2号炉	
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日16時36分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	⑥非常用炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (☑する, □しない)
	想定される原因	☑特定 □調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	23日はP/Wバント操作の準備を進めておりましたが、P/Wバント操作開始前の線量評価については、 P/Wバント操作開始前の線量評価については、 P/Wバント操作開始前の線量評価については、
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻__時__分)	被ばく者の状況 ☑無 確認中 ☑有 被ばく者__名 要救助者__名 汚染拡大の有無 ☑無 ☑有
	気象情報 (確認時刻__時__分)	天候 風向 方位 風速 m/s 大気安定度
	周辺環境への影響	☑無 ☑有
	応急措置	

13:59 FAX 30

(訂正あり)

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
 発信時刻 時 分
 (第 15 条 第 報)
 経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿
 通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)
 (G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
 以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所
 名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
 (事業区分：電気事業)
 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
 特定事象の発生箇所
 福島第一原子力発電所 第 号炉
 特定事象の発生時刻
 平成23年3月11日16時36分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要

特定事象の種類
 ③非常用炉心冷却系注水不能
 原子力緊急事態に該当 (する, しない)

想定される原因
 特定 調査中

検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等
 当該炉心には、炉内に炉心冷却水が溜まっていた。
 海水を注入する設備としており、炉心冷却水
 注水と開始します。

その他特定事象の把握に参考となる情報

被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)
 被ばく者の状況 運転中
 無
 有：被ばく者 名 要救助者 名
 汚染拡大の有無
 無
 有

気象情報 (確認時刻 時 分)
 天候 :
 風向 : 方位
 風速 : m/s
 大気安定度 :

周辺環境への影響
 無
 有

応急措置

訂正 Rev. 1

38

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 29 年 3 月 13 日 (第 報) 発信時刻 14 時 23 分 (第 15 条 第 1 項 第 1 報)	
経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿 通報者名 福島第一原子力発電所長 森田 昌郎 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代) (G)	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報 以後の情報を通報します。	
原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第3号炉
特定事象の発生時刻	平成29年3月11日16時36分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 ⑥非常用炉心冷却設備取水不能 原子力緊急事態に該当 (四する, □しない)
	想定される原因 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 RPV 33%の圧力に達し、炉内に加熱ラインを形成して、海水を注入する準備をしており、RPVが冷却水を注入し開始した。
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分) 天候: _____ 風向: _____ 方位 風速: _____ m/s 大気安定度: _____
	周辺環境への影響 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置

14:23 FAX 39

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)	
発信時刻 19 時 23 分	
(第 15 条 - 30 報)	
経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎	
連絡先 (原子力防災管理者) 0240-92-2101(代)	
(G)	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。	
原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 号炉
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 56 分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 ②非常用炉心冷却設備が作動不能 原子力緊急事態に該当 (□する, □しない)
	想定される原因 □特定 □調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 MP-4: 2.905 uSv/h (R: 50) MP-4: 2.905 uSv/h (R: 50)
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 □無 確認中 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有
	気象情報 (確認時刻 時 分) ・天候: 晴れ ・風向: 方位 東北東 ・風速: 1.5 m/s ・大気安定度:
	周辺環境への影響 □無 □有
	応急措置

一斉FAX 15:18 40
様式B-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 15 時 18 分

(第 15 条-39 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称:東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分:電気事業) 場所:福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 26 分 (2.4時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	⑥非常用炉心冷却装置注水可能 原子力緊急事態に該当 (□する, □しない)
	想定される原因	□特定 □調査中
その他特定事象の把握に参考となる情報	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	先に告知された28機炉心への操作に因して、開始前の被ばく野面について、別紙通りご連絡した。
	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 確認中 □無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有:
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候 風向: 方位 風速: m/s 大気安定度
	周辺環境への影響	□無 □有:
応急措置		

1F2

PCVベント評価

(条件)

- 重大事故 (希ガス 2% 放出)
(燃料インベントリ-の)

- 最新の気象条件 { 風向
風速
大気安定度

- 1ヶ散出の継続

- D/W + S/C の体積比

ラッパ-ディスク圧力から 大気圧

破壊

に於てして 評価

▽ リリースタイム	2011/09/12 00-10
▽ 予備	2011/09/12 00-20
▽ 準備	2011/09/12 00-30
▽ 建屋	2011/09/12 00-40
▽ 西側	2011/09/12 00-50
▽ 支援	2011/09/12 00-50
▽ 希ガス	2011/09/12 01-10
▽ 上方巻	2011/09/12 01-20
▽ 合計	2011/09/12 01-30
▽ 実効稼働量	2011/09/12 01-40
▽ 実効稼働量(成人)	2011/09/12 01-50
▽ 実効稼働量(子供)	2011/09/12 02-00



- サイト原典
- ＜アユタス観測局＞
- ① 川内
- ② 飯江
- ③ 広野
- ＜特定評価地点＞
- ④ 双葉町新山 (田向、田向)
- ⑤ 双葉町新山 (中、1.B)
- ⑥ 双葉町新山 (低圧、1.B)
- ⑦ 双葉町新山 (大気測定、B)
- ⑧ 双葉町新山 (田向、田向)
- ⑨ 双葉町新山 (中、1.B)
- ⑩ 双葉町新山 (低圧、1.B)
- ⑪ 双葉町新山 (大気測定、B)
- ⑫ 双葉町新山 (田向、田向)
- ⑬ 双葉町新山 (中、1.B)
- ⑭ 双葉町新山 (低圧、1.B)
- ⑮ 双葉町新山 (大気測定、B)
- ⑯ 双葉町新山 (田向、田向)
- ⑰ 双葉町新山 (中、1.B)
- ⑱ 双葉町新山 (低圧、1.B)
- ⑲ 双葉町新山 (大気測定、B)
- ⑳ 双葉町新山 (田向、田向)
- ㉑ 双葉町新山 (中、1.B)
- ㉒ 双葉町新山 (低圧、1.B)
- ㉓ 双葉町新山 (大気測定、B)

地図上の任意点をクリックすると評価点の値を表示します。(再クリックすると消去します。)

等値線レベル: 1.05-02.00m

1. 2号機主排気筒
 放出開始時刻: 2011/09/12 00:40
 出力: 1.87E+16 Bq/s
 積出力: 8.01E+17 Bq

シフト	1	実効質量
シフト	2	実効質量
シフト	3	実効質量
シフト	4	実効質量
シフト	5	実効質量
シフト	6	実効質量
シフト	7	実効質量
シフト	8	実効質量
シフト	9	実効質量
シフト	10	実効質量
シフト	11	実効質量
シフト	12	実効質量
シフト	13	実効質量
シフト	14	実効質量
シフト	15	実効質量
シフト	16	実効質量
シフト	17	実効質量
シフト	18	実効質量
シフト	19	実効質量
シフト	20	実効質量

9	2011/03/12 01:30
10	2011/03/12 01:50
11	2011/03/12 01:50
12	2011/03/12 02:00
13	2011/03/12 02:10
14	2011/03/12 02:20
15	2011/03/12 02:30
16	2011/03/12 02:40
17	2011/03/12 02:50
18	2011/03/12 03:00
19	2011/03/12 03:10
20	2011/03/12 03:20



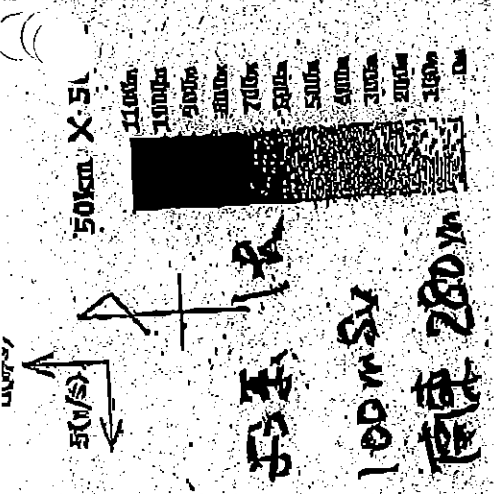
1. 05-02 [050]

等値線レベル:

放射線測定: 1. 2号機主給水ポンプ 希ガス濃度: 0.002±0.00 [Bq/l]

放射線測定: 2011/03/12 00:00 希ガス濃度: 0.010±0.01 [Bq/l]

1	2011/03/12 00:10
2	2011/03/12 00:20
3	2011/03/12 00:30
4	2011/03/12 00:40
5	2011/03/12 00:50
6	2011/03/12 01:00
7	2011/03/12 01:10
8	2011/03/12 01:20
9	2011/03/12 01:30
10	2011/03/12 01:40
11	2011/03/12 01:50
12	2011/03/12 02:00



- ① サイト原地点
- ② アラカス解凍局
- ③ 川口
- ④ 川口
- ⑤ 川口
- ⑥ 川口
- ⑦ 川口
- ⑧ 川口
- ⑨ 川口
- ⑩ 川口
- ⑪ 川口
- ⑫ 川口
- ⑬ 川口
- ⑭ 川口
- ⑮ 川口
- ⑯ 川口
- ⑰ 川口
- ⑱ 川口
- ⑲ 川口
- ⑳ 川口
- ㉑ 川口
- ㉒ 川口
- ㉓ 川口
- ㉔ 川口
- ㉕ 川口
- ㉖ 川口
- ㉗ 川口
- ㉘ 川口
- ㉙ 川口
- ㉚ 川口
- ㉛ 川口
- ㉜ 川口
- ㉝ 川口
- ㉞ 川口
- ㉟ 川口
- ㊱ 川口
- ㊲ 川口
- ㊳ 川口
- ㊴ 川口
- ㊵ 川口
- ㊶ 川口
- ㊷ 川口
- ㊸ 川口
- ㊹ 川口
- ㊺ 川口

地形図上の仮定点をクリック
すると該地点の値を表示しま
す。(再クリックすると消去
します。)



1. 07-11-15075
4. 07-11-15075
0-151 標準値

1910-青FAX 41

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
 発信時刻 19 時 10 分
 (第 15 条-40 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿
 通報者名 福島第一原子力発電所長
 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-82-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
 以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び
 名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
 (事業区分：電気事業)
 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2
 特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第 号炉
 特定事象の発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 26 分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要
 特定事象の種類 ①非冷却材循環装置注入不能
 原子力緊急事態に該当 (☑する, ☐しない)
 想定される原因 ☐特定 ☑調査中
 検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は
 主な施設・設備の状況等 現在のプラント状況

その他特定事象の把握に参考となる情報
 被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 確認中
 ☐無 ☑有：被ばく者 名 要救助者 名
 汚染拡大の有無 ☐無 ☑有
 気象情報 (確認時刻 時 分) ・天候 : 晴れ
 ・風向 : 方位北北西
 ・風速 : 0.5 m/s
 ・大気安定度 :
 周辺環境への影響 ☐無 1752 MP-4 51.8 μSv/h
 ☑有 :
 応急措置

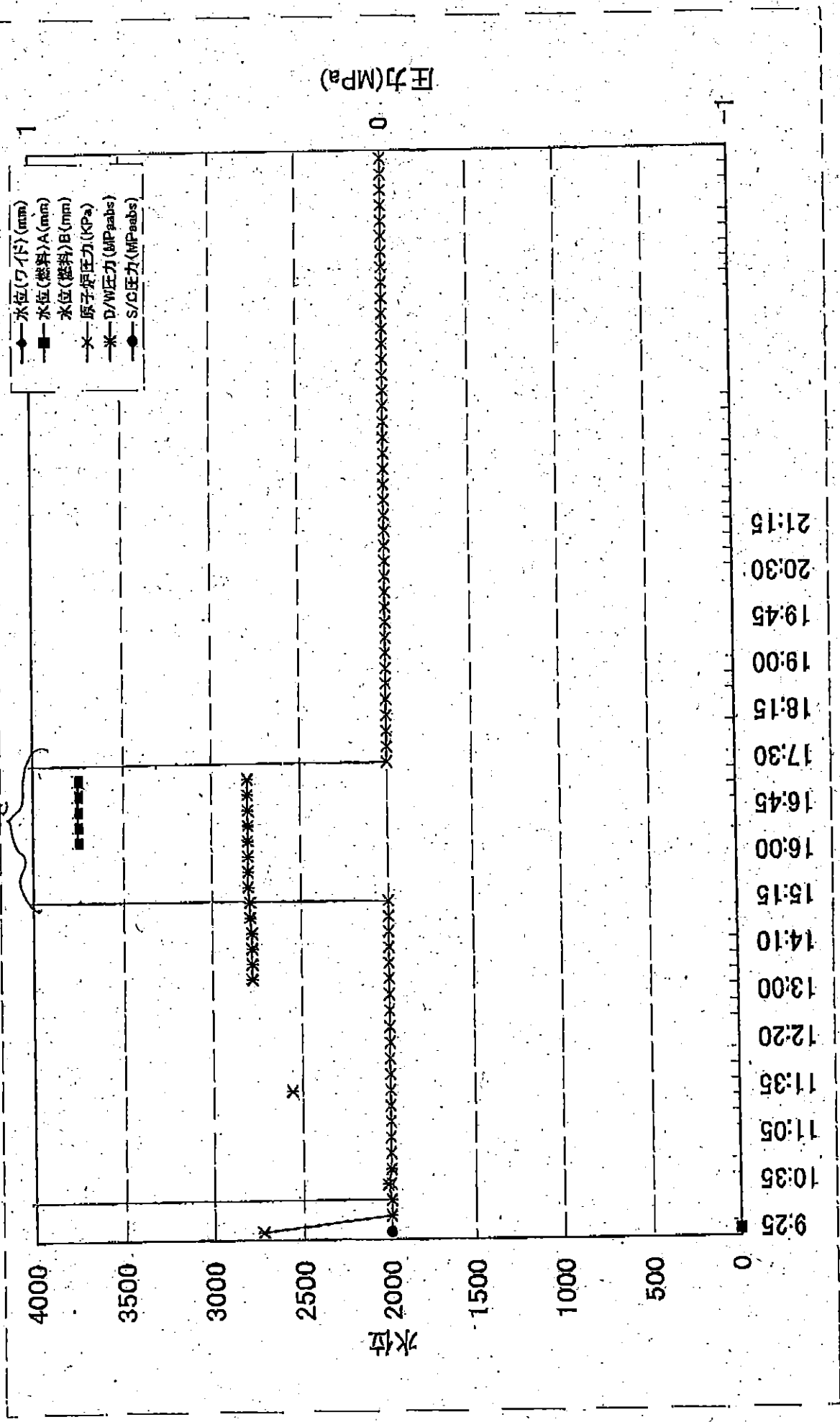
3月13日 18:45現在

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	消火系ラインを用いて海水注入中	RCIC動作中 (2.55、現時吐出圧 6MPa 確認) HPCI (電源復旧待ち)	HPGI停止 (02:44) RCIC起動不能確認 (5:10). 可搬式消火ポンプを消火系に接続し、炉注入中 (吐出圧力 1MPa). D/D消火ポンプについても運転中 (吐出圧力 0.6 MPa).	停止中	停止中	停止中
原子炉水位	ダウンスケール (燃料域 A) -1700mm (燃料域 B) (18:45現在)	ワイドは0/S 燃料域A: +3800mm 燃料域B: +3750mm 燃料域A/B系監視可能 (18:45現在)	-1800mm (燃料域A) (18:45) -2200mm (燃料域B)	-	-	-
原子炉圧力	0.362.3MPa (18:45現在)	18:00以降接続不良の為 指示確認できず。 (確認18:45)	0.25MPa (18:45現在)	-	-	-
D/W圧力	D/W 0.590MPa S/C 0.585MPa 仮設電源設置により監視可能 となった。(18:45現在)	D/W 0.410MPa S/C 計器復旧中 (18:45現在)	D/W 420kPa S/C 375kPa (18:45現在)	-	-	-
D/W 設計使用圧力	384kPa	384kPa	384kPa	-	-	-
D/W 最高使用圧力	427kPa	427kPa	427kPa	-	-	-
3u主スタック	12cps (3/12 7:30 予一タ)					
電源	1Aトリップ 1Bトリップ	2Aトリップ 2Bトリップ	3Aトリップ 3Bトリップ	4A,B 使用不可	5A,Bトリップ	6B動作中 6A 不可 HPCS不可
放射能測定結果	MP4付近モニタリングカー : 51.8 μ S/h (17:52) MP6付近 (正門付近) : 4.301 μ S/h (17:00) MP8付近※ : 5.6 μ S/h (07:30) ※風向きを考慮し、測定を実施していることから、現在MP8測定実施していない。 3号機核出: 検出限界値以下 (4.6-6 \times 10 ⁻⁶ Bq/cm ²) (正門付近 1.7時16分頃) MP1※ : 3.5 μ S/h (17:50)					
その他情報	3/12 14:30 1号機 前圧バント開始と判断。 3/12 20:20 1号機 消火系ラインを使った海水注入開始し、注入中。 1号原子炉圧力容器の容量は約120トンであり、現在海水系は、20~60トン/H (流量計がついていないため、正確な数字はわからない) で注入されていることから、3/13 3時00分くらいに海水と考えると考える。しかし、水位が海水であることを確認できないことから、引き続き注水を継続する。					



2005.12.15

IF-2 / 20724 水位 (218=00)



1F-3 70321 状況 (18=70)

